

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 10 月 16 日 (2014.10.16)

【公開番号】特開 2013-48129 (P2013-48129A)

【公開日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2013-012

【出願番号】特願 2011-185393 (P2011-185393)

【国際特許分類】

H 0 5 K 13/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 13/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子部品を収納する部品収納部が所定間隔を存して形成された収納テープのカバーテープを剥離し、送り機構により部品取出位置まで前記部品収納部内に収納された電子部品を供給する部品供給ユニットを複数台着脱可能にユニットベース上に設置する部品供給装置において、前記収納テープを巻回収納する部品供給リールを収納するリール収納体を設けて、このリール収納体を部品供給リール格納部の空間内に着脱可能に収納することを特徴とする部品供給装置。

【請求項 2】

前記収納体は 2 枚の板体と、この 2 枚の板体間に介在された支軸と、この支軸に回動可能に嵌挿された中空円筒状の複数のカラーとを備え、前記 2 枚の板体間の空間内に前記カラーにより前記部品供給リールを支承した状態で前記部品供給リールを収納することを特徴とする請求項 1 に記載の部品供給装置。

【請求項 3】

前記カラーの軸線方向の両端部には、軸線と直交する外方に環状に延び且つ外端部に向けて薄い傾斜面を有するフランジを形成したことを特徴とする請求項 2 に記載の部品供給装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

このため第 1 の発明は、電子部品を収納する部品収納部が所定間隔を存して形成された収納テープのカバーテープを剥離し、送り機構により部品取出位置まで前記部品収納部内に収納された電子部品を供給する部品供給ユニットを複数台着脱可能にユニットベース上に設置する部品供給装置において、前記収納テープを巻回収納する部品供給リールを収納するリール収納体を設けて、このリール収納体を部品供給リール格納部の空間内に着脱可能に収納することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第2の発明は、第1の発明において、前記収納体は2枚の板体と、この2枚の板体間に介在された支軸と、この支軸に回動可能に嵌挿された中空円筒状の複数のカラーとを備え、前記2枚の板体間の空間内に前記カラーにより前記部品供給リールを支承した状態で前記部品供給リールを収納することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第3の発明は、第2の発明において、前記カラーの軸線方向の両端部には、軸線と直交する外方に環状に延び且つ外端部に向けて薄い傾斜面を有するフランジを形成したことを特徴とする。